

case. 光市
12 惣菜・雑貨店



住宅



店舗



古いものと新しいものが融合する
親しみやすい憩いの場に

リノベーション内容

Before



After



庭の塀を取り除いてテラス席を設置。店舗横の畑を埋めて駐車場に。店舗前にあった電柱を電力会社と交渉して位置を変えた。

Before



After

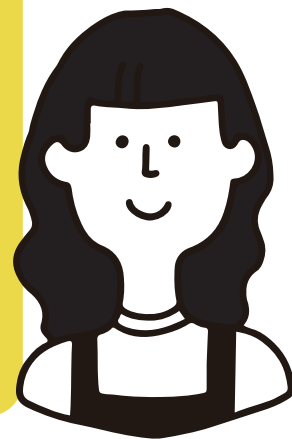


建物の前面はもともと上部に小さい窓があるだけだったが、店内に明るい光が入るように新しく出入口と窓を設けた。

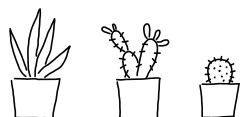
リノベーション ストーリー

renovation story

他の場所で雑貨店を営業していましたが、2020年コロナウイルス感染症の影響により休業したことをきっかけに、住まいのある光市への移転を考え始めました。同じ頃に、祖母が施設に入ることが決まりもともと住居兼用のパン屋だった家が空き家となることになりました。タイミングがよかったこともあり、この場所を利活用して開業することを決めました。空き家は父の所有であり、住宅の一部を店舗として利用する計画だったため、費用面を含めて調整が大変でした。ただ、内容についてはとても自由にさせてもらったので、そこはとてもよかった点です。改修を開始してから半年後の2020年11月21日にオープンすることができました。今ではご近所さんだけでなく、遠方からも多くの方に訪れていただいています。



利活用までの スケジュール



schedule

● 2020.3	営業していた雑貨店の休業が決定
● 2020.4	祖母が居住していた住居が空き家になる
● 2020.5	空き家を利活用して店舗を営業すること決意
● 2020.5	リノベーション開始
● 2020.10	リノベーション完了
● 2020.11	オープン

こだわりポイント



曾祖父が営んでいたパン屋で使用していた物を活かしたリノベーション

パン屋で使用していた計量カップは照明に、畳の敷板は雑貨が並ぶ商品棚に転用しました。その他にも昔使用していた番傘や卵焼き器もお店の装飾として飾っています。出入口や窓を広くして光が店内に差し込むようにし、初めて来店される方にも入りやすい雰囲気づくりを目指しました。